

## PDF入稿の推奨

弊社では、印刷工程を効率よく行うために、PDF/Xでの入稿を推奨させていただいております。PDF/Xとは、ISO15930の規格のひとつで、印刷用のPDFのことです。また、PDF/Xにはいくつかのバリエーションがありますが、弊社では、一般的なデータの場合はPDF/X-1a、透明効果が含まれる複雑なデータの場合はPDF/X-4での入稿をお願いしております。また、埋め込みできないフォントを使用される場合は、PDFをグラフィックス化(アウトライン化)したデータを入稿いただいております。

## 初期設定 (CS3～CS5.5、Acrobat7～Xの設定)

PDF/Xファイル書き出し用の推奨設定プリセットファイルを提供しています。下記に記載した、バージョン・アプリケーションに対応したプリセットファイルを使用し、入稿データの作成をお願いします。

プリセットファイル	PDF/X書き出し	対応バージョン	対応アプリケーション
Trueflow PDFX1a 1.3J.joboptions	PDF/X-1a	CS2～CS5.5	Illustrator、InDesign
Trueflow PDFX4 1.3J.joboptions	PDF/X-4	CS3～CS5	Illustrator、InDesign
Trueflow PDFX4 1.4J.joboptions	PDF/X-4	CS5.5	InDesign

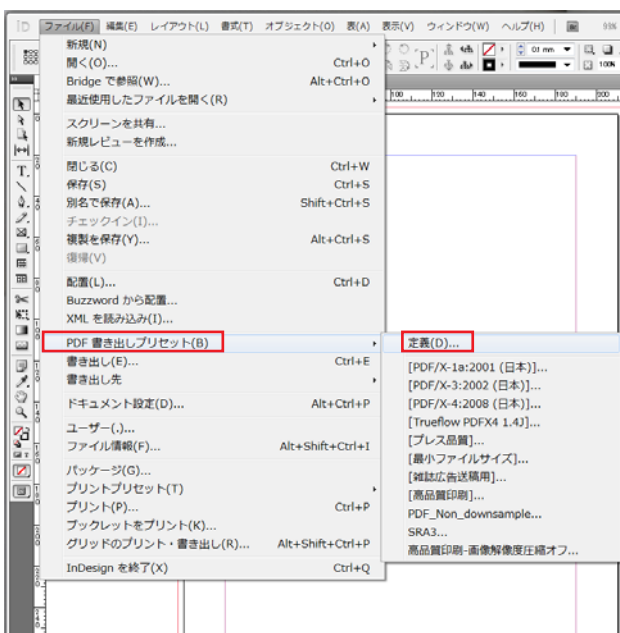
## In DesignでのPDF/X作成 (CS3～CS5.5)

In Designでは以下の手順で、印刷に適したPDF/Xデータを作成することができます。

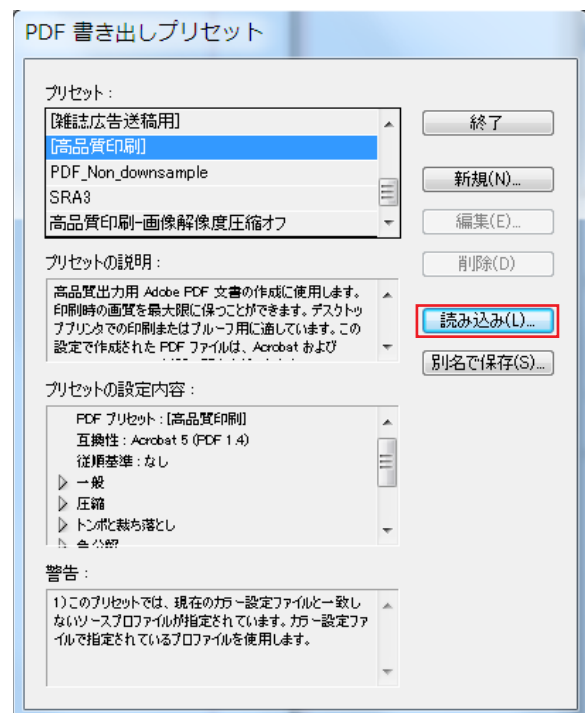
In DesignのPDFへの書き出しでは、和文・欧文フォントともに埋め込みは可能ですが、トラブルを避けるため、すべてのフォントをアウトライン化してください。また、PDFはアートボードサイズで作成されますので、サイズの確認をお願いします。

### PDF作成手順と設定

下記作成手順は、PDF/X-4の保存例(画像はすべてCS3)



「ファイル」→「PDF書き出しプリセット」→「定義」を選択



「読み込み」を押して、先ほどダウンロードした「Trueflow PDFX4 1.0.j.joboptions」を選択  
 ※○は使用する各バージョンに対応したプリセットを選んでください。(上記初期設定参照)  
 読み込んだら「終了」を押して閉じてください。  
 ※ダウンロードしたzipファイルをあらかじめ解凍しておいてください。

PDF保存前に、プリフライトを行いRGBが含まれていないか確認します。



「ファイル」→「プリフライト」を選択

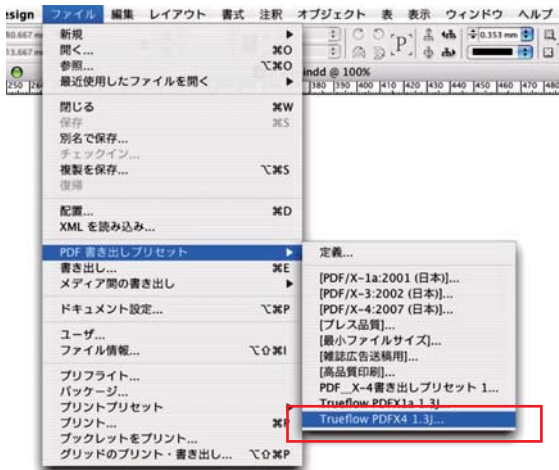


プリフライト結果がダイアログで表示されます。「概要」または「リンクと画像」でRGB画像の有無を確認し、問題箇所 (RGB) があればCMYKに変換してください。

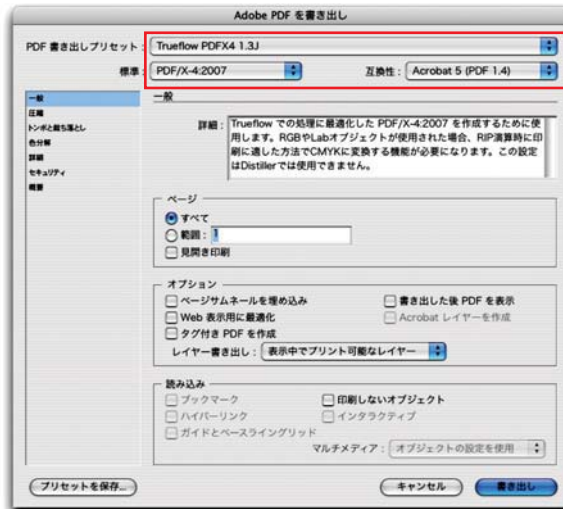
「問題だけを表示」のチェックを入れると、RGB画像のみのリストを表示できます。

**プリフライトでチェックできないRGB**

InDesignでは、配置されたEPS、Adobe IllustratorまたはMacromedia FreeHandファイルに埋め込まれているRGB画像は検出できません。該当するデータを配置している場合は、元のアプリケーションで配置画像のカラーデータの確認・修正をしてください。



「ファイル」→「PDF書き出しプリセット」で、「Trueflow PDFX4 1.4J」を選択するか以下の設定でPDF書き出しを行ってください。



※CS3以上の場合、[準拠する規格]はPDF/X-4:2007ではなくPDF/X-4:2008、CS5.5ではPDF/X-4:2010と表示されます。

プリフライト結果がダイアログで表示されます。「概要」または「リンクと画像」でRGB画像の有無を確認し、問題箇所 (RGB) があればCMYKに変換してください。

PDF/X-1a書き出しの場合は、[プリセット]:Trueflow PDFX1a 1.3Jを選択し、[標準]:PDF/X-1a:2001 [互換性]:Acrobat 4 (PDF 1.3) で書き出してください。また、CS5.5のIn DesignでPDF/X-4書き出しをされる場合は、[プリセット]:Trueflow PDFX4 1.4Jを選択し、[標準]:PDF/X4:2010 [互換性]:Acrobat 7 (PDF 1.6) で書き出してください。

**圧縮設定** 必要に応じて設定してください。

弊社の圧縮設定は、品質重視のために可逆圧縮設定になっています。設定を変更して圧縮を行う場合は、品質上の問題がないことを十分に確認して設定変更を行ってください。また、設定変更による品質低下の責任は負いかねますので、ご注意ください。

**トンボと断ち落とし設定** 必要に応じて設定してください。

**色分解設定** 右記推奨ですが、必要に応じて設定してください。

弊社設定を変更されると、画像品質に影響があります。設定を変更される場合は、出力される画像品質に問題がないかどうか、事前に確認して設定変更を行ってください。また、設定変更による品質低下の責任は負いかねますので、ご注意ください。

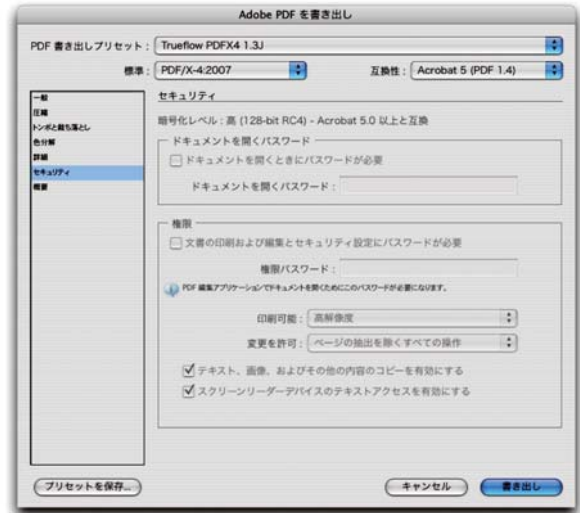
PDF/X-1a保存の場合は、[カラー変更]:出力先の設定に変更 (カラー値を保持) を選択してください。

※ [カラー変換]:「なし」に設定するとPDF/X-1aになりません。





【透明の分割・統合】: グレーアウト【高解像度】  
 左記通常設定のとき、透明処理を含んだ非常に複雑なデータが原因で、RIP処理時にエラーを起こす場合、PDF書き出し前に、「編集」→「透明の分割・統合オプション」の設定を変更していただくことができます。



セキュリティを設定すると、出力時にエラーの原因となるため設定しないで、そのままPDF書き出しをしてください。

## Acrobat DistillerでのPDF/X-1a作成

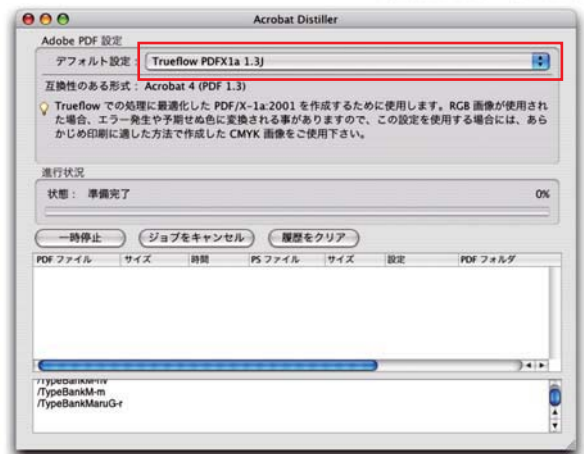
ダイレクトにPDF/X-1aを作成することができないアプリケーションでは、Acrobat Distiller 8~Xを用いて、ご使用のアプリケーションから出力されたPostScriptファイルを使ってPDF/X-1aを作成します。ご使用のアプリケーションからPostScriptファイルを出力する際のPPDファイルは弊社が支給するものではなく、Adobe PDFというPPDファイルを使用してください。

透明の記述ができないPostScriptに書き出しますので、事前に適切な透明の分割設定を行ってください。また、RGB画像の使用もできませんので、ご注意ください。

### PDF作成手順と設定

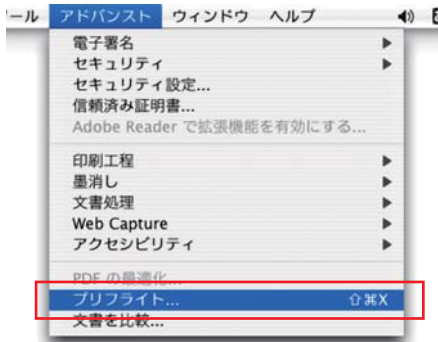
下記作成手順は、PDF/X-1aの保存例(右記画像はAcrobat Distiller 8)

Acrobat Distillerを開き、「Trueflow PDFX1a 1.3J」を選択してPostScriptファイルをダイアログ上にドラッグ&ドロップすると、PDFファイルが作成されます。

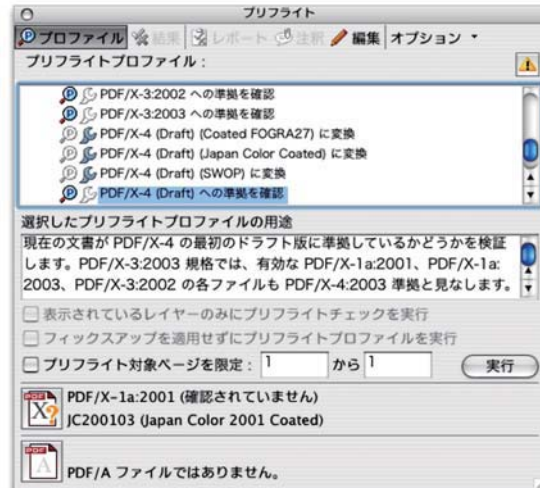


## PDFの検証と確認

PDFの作成が完了した後、必ず検証を行ってください。ここでは、Acrobat 8 Professionalを使った検証の手順を説明します。(Acrobat 8~X Professionalでも同様の手順で行ってください。)



検証したいファイルをAcrobat 8 Professionalで開き、アドバンスト→プリフライト...を選択します。



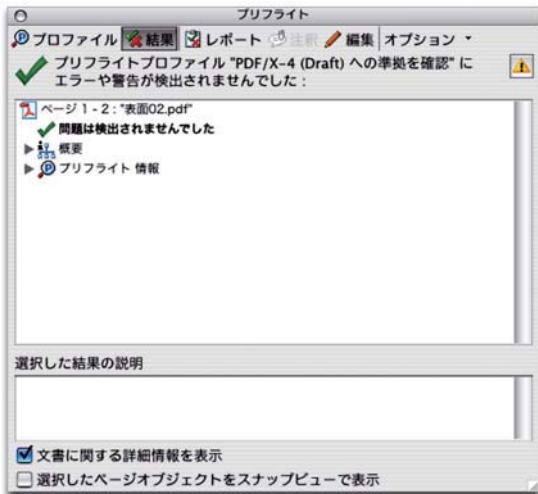
Acrobat 9以降の場合は、「PDF/X-4への準拠を確認」を使用して検証してください。

Acrobat 8を使用する場合は、必ずAcrobat 8.1にアップデートして検証してください。

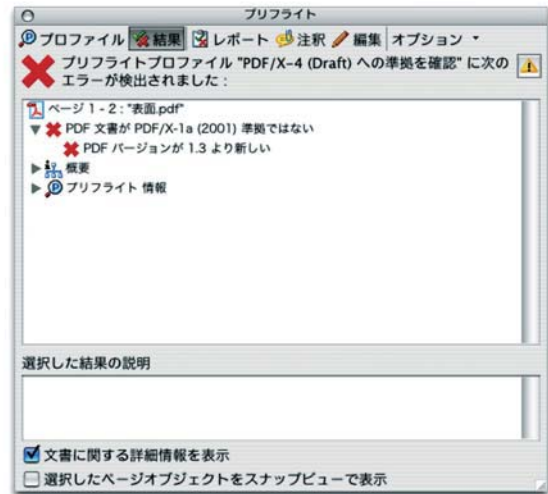
プリフライトの一覧から適切なプロファイルを選択し、「実行」または「解析」ボタンをクリックするとプリフライトチェックが実行されます。(ここでは、PDF/X-4を例としています)

「実行」または「解析」後、プリフライトの結果が表示されます。

**OKの場合** 確認後、入稿いただけます。



**NGの場合** 問題点が表示されます。



NGの場合は、ご使用のアプリケーションやPDF書き出しの手順を再確認し、再度プリフライトチェックを行い、問題点の修正後データを入稿してください。

**結果詳細** 検証結果の詳細は[▼概要][▼プリフライト情報]を展開し、確認することができます。



[概要][プリフライト情報]などの詳細情報は、ダイアログの下方の「文書に関する詳細情報を表示」のチェックをONにすると表示されます。

以上で、PDFの検証は完了です。